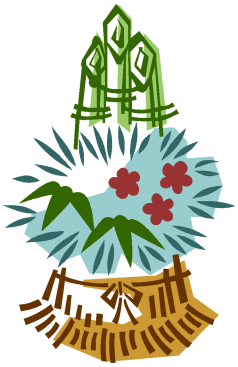
宮床中だより　「ささくら」

学校教育目標
「豊かな心をもち，自ら学び共に高め合う生徒の育成」

【 第 １３ 号 】　１月９日（木）発行

大和町立宮床中学校
電　話：(346) 2006

３学期スタート！！



新年を迎え，１月８日（水）から令和元年度第３学期がスタートしました。
例年になく穏やかな年末年始でしたが，始業式の日は「待っていました」というばかりに雪景色の中の登校となりました。そんな中でも生徒たちは元気に登校し，久しぶりに会った友人たちと笑顔で会話をする姿が見られとてもうれしく思いました。
この３学期は，生徒にとって１年間のまとめの学期であるとともに，進級・進学への準備の学期でもあります。生徒はそれぞれに，「今年の目標」や「新たに挑戦したいこと」などを心に期して始業式に臨んだことと思います。その実現を目指して，一日一日を大切にし，着実に歩んでいってほしいと願っています。また，私たち教職員も，生徒一人一人の成長のために，指導・支援に努めてまいりますので，これまでと同様に，ご理解やご協力を賜りますようお願いいたします。

［１／８　第３学期始業式　校長式辞より］

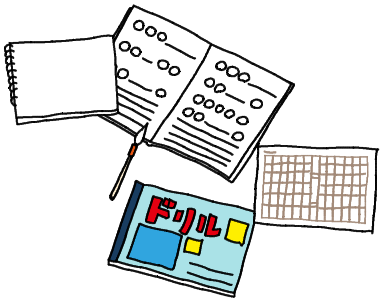
生徒のみなさん，おはようございます。そして明けましておめでとうございます。
皆さんはこの場に，新年を迎え気持ちを新たにして参加していることと思います。15日間の冬休み，そして年末・年始は，家族とともに良い時間を過ごすことができたでしょうか。冬休み中にはウィンタースクールに参加して，学習に熱心に励む生徒の姿や，気温の上がらない寒い校庭や体育館で，白い息を吐きながら部活動に一生懸命に取り組む生徒の姿が見られ，自分を磨く宮中生の姿を頼もしく感じました。

さて，みなさんも耳にしたことがあるかと思いますが，「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。今日は，2020年そして３学期最初の日。ある意味「学校生活の元旦」と言えるかと思います。何事も物事が始まるときに，目標や見通しをもつことは大切なことです。皆さんもこれからの学校生活に向けて目標を立てると思いますが，その目標を立てる際に，意識してほしいことが２つあります。
一つ目は，この３学期はこの学年のまとめの時期だということです。勉強や部活動はもちろんですが，学級や学年の仲間とよい締めくくりをするために，どのようなことを心掛けて過ごすのかということも考えてみてください。残りの３ヶ月間を充実したものとなるよう，立てた目標に向かって一日一日を大切に過ごしましょう。
そしてもう一つは，この３学期は４月から始まる次年度への準備・助走期間でもあるということです。４月から始まる新生活を見据え，この2020年の１年間を意識した目標を立ててください。特に３年生は，高校入試を経て，４月からは自分の夢や目標に向かって，それぞれが違う道へと歩み出します。自分が目指す高校に合格するために，今が踏ん張りどころです。「花の咲かない冬の日は，下へ下へと根を伸ばせ」という言葉があります。植物が種から芽を出し，大きな花を咲かせるには，冬の間に根をしっかりと大地に張る必要があります。私たち人間も同じです。自分の高い目標を達成するためには，つらく苦しくてもじっと辛抱強く耐え努力する時期が必要です。あきらめず，粘り強く，今やるべきことを手を抜かずに行うことが，自分の花を大きく咲かせるための条件になります。これは勉強だけでなく部活動など多くのことにあてはまります。最後まで焦らず，あきらめず，地道に努力していきましょう。
結びになりますが，４月から始まる新生活に向けて，一人一人が自分を磨く３学期となるように期待して，式辞といたします。

始業式では，各学年と生徒会執行部の代表生徒から，３学期の抱負が発表されました。

１学年代表	さん
２学年代表	さん
３学年代表	さん
生徒会執行部代表	さん

ウインタースクール



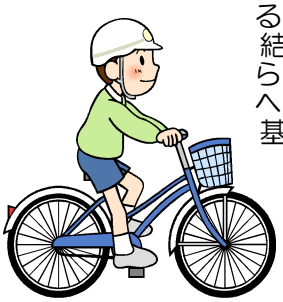
１２月２４日（火），２５日（水）の２日間，恒例のウインタースクールが開催されました。

今回は，１，２年生の希望生徒の参加でしたが，参加した生徒たちは学習ボランティアさんの支援を受けながら，２学期の復習や冬休みの宿題に取り組みました。１年生も２年生も，持参した課題を集中して進めている姿が見られ，大変充実した時間を過ごすことができました。

かぜ・インフルエンザに要注意！

１年の中で一番寒さが厳しくなる時期になりました。かぜやインフルエンザの予防など，体調管理にも注意が必要な季節です。手洗い・うがいの徹底やマスクの活用も効果的ですが，予防には，身体の免疫力を低下させない生活を心掛けることが重要です。「身体を冷やさないよう衣類で調節する」「夜更かしをせず，睡眠を十分にとる」「バランスのとれた食事をしっかりとる（特に朝食）」など，中学生として自己管理をする力も身に付けていきましょう。

冬道の交通安全に気を付けよう！

これからの季節は，降雪や道路の凍結など，交通安全にも十分な注意が必要です。歩行者が注意をしていても，スリップをした車が予想外に接近してくることも考えられます。また，「凍結の危険がある場合は自転車に乗らない」「自転車に乗る際は，必ずヘルメットを着用する」など，基本的なことが自分の身を守るためには大変重要になります。

登下校のバスの乗降についても，周囲の人のことを考えて，お互いに安全に登下校できるよう心掛けましょう。